

草の根技術協力（草の根協力支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	マラウイ共和国
2. 案件名	教師の学びのための専門職学習コミュニティネットワーク構築プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>マラウイ共和国（以下「マラウイ」という。）では、1990年の万人の教育会議の決議を受け、1994年に初等教育が無償化され、初等中等教育の就学者数が増加した。一方、その修了率は低く、教育の内部効率性に課題を抱えている。また、教員資格を持つ正規教員の不足による教育の質の低下が指摘されている。</p> <p>このような状況を受け、マラウイ政府は、長期国家戦略「Malawi 2063」において教育を重点課題の一つに掲げている。さらに、教育セクター計画（National Education Sector Investment Plan: NESIP）（2020年～2030年）においては、目標の1つとして教師教育が位置づけられ、継続的職能成長を含む教員研修の向上が目指されている。</p> <p>こうした動向も踏まえ、福井大学は、草の根協力支援型「マラウイ共和国における教師の専門職学習コミュニティネットワーク構築プロジェクト」（2022年～2024年）を実施し、教師の専門職学習コミュニティネットワークの構築に取り組んできた。同事業による教科群の授業研究チームの設立等の一定の成果が見られるものの、授業研究チームを率いるコーディネーターの異動による活動の持続性担保が課題となっており、持続的な教師の力量形成を支える仕組みの構築には至っていない。</p> <p>本事業では、探究的な授業づくりに対し、教科群及び教科群横断的に教師同士が重層的な協働に取り組むこと、教師の協働を支える校内研究コーディネーター同士のコミュニティを構築すること、大学や教育行政のコミュニティを形成することを通して、多層の教師の専門職学習コミュニティネットワークの再構築を目指す。</p>
4. プロジェクト目標	ナリクレクラスターにおいて教師の職能成長を支える、持続的かつ主体的な多層の専門職学習コミュニティネットワークが構築される。
5. 対象地域	リロングウェ県ナリクレ地域
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<ul style="list-style-type: none"> ・直接受益者：ナリクレ教員養成大学（NCE）の教員15名程度、ナリクレクラスターに属する計6校の中等学校（以下、ナリクレクラスター6校）の教師150名程度、ナリクレクラスター6校の校内研究コーディネーター15名程度 ・間接受益者：ナリクレ教員養成大学の学生400名程度、ナリクレクラスター6校の中学3年生から高校3年生の生徒5,000名程度
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ナリクレクラスター校において、持続的かつ主体的な教師の校内学習コミュニティが構築される。 2. ナリクレクラスター校において、持続的かつ主体的なナリクレクラスター校内研究コーディネーターのクラスター学習コミュニティが構築される。 <p><活動></p>

	<p>1-1. ナリクレクラスター校の校内研究コーディネーターに対して、校内学習コミュニティの構築に関する、本邦研修及びオンラインを組み合わせた 1 年間の研修を実施する。</p> <p>1-2. 教科群ごとの教師が子どもの学習過程について協議する場を、ナリクレクラスター校の校内研究コーディネーターが定期的に設けることを支援する。</p> <p>1-3. 教科群横断の教師が子どもの学習過程について協議する場を、ナリクレクラスター校の校内研究コーディネーターが定期的に設けることを支援する。</p> <p>1-4. 教科群ごとと教科群横断の教師が協議する内容の方向性について、ナリクレクラスター校の校内研究コーディネーターが協議する場を定期的に設けることを支援する。</p> <p>1-5. ナリクレクラスター校の教師が子どもの学習過程に基づく実践を記録化し、省察し、今後の展望を拓く場を、ナリクレクラスター校の校内研究コーディネーターが毎年 1 回設けることを支援する。</p> <p>2-1. NCE 教員に対して、校内学習コミュニティの構築に関する、本邦研修及びオンラインを組み合わせた 1 年間の研修を実施する。</p> <p>2-2. NCE 教員とナリクレクラスター校の校内研究コーディネーターが進捗を共有する場を、NCE 教員が各学期に 1 回設けることを支援する。</p> <p>2-3. ナリクレクラスター校の校内研究コーディネーターが校内学習コミュニティの構築過程に関する実践を記録化し、省察し、今後の展望を拓く場を、NCE 教員が毎年 1 回設けることを支援する。</p>
8. 実施期間	2025 年 12 月～2028 年 12 月（3 年）
9. 事業費概算額	9,930 千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	ナリクレ教員養成大学（NCE）、ナリクレクラスター 6 校
II. 団体の概要	
1. 実施団体	国立大学法人福井大学
2. 主な活動内容	<p>福井大学大学院連合教職開発研究科は、学校現場を学びの場とする学校拠点方式を全国に先駆けて導入し、主体的・協働的な学びを創る教師の育成を進めてきた。附属学園と連携した研修制度や管理職育成コースの開発、探究型授業への転換等、授業改善の研究を推進すると共に、福井県教育委員会との協働や連携校拡大、国内外ネットワークの構築を進めている。令和 5 年度には文部科学省より教員養成フラッグシップ大学に指定された。同学総合教職開発本部国際教職開発部門では、日本型学校教育の知見を世界に発信し、授業研究を基盤とした探究型授業の普及に取り組む他、JICA 研修員受入や専門家派遣、Edu-Port ニッポン等の国際協力にも積極的に参画している。</p>